BASIC SKILLS for TEACHERS 7+3

教師のベーシックスキル 7+3①

玉川大学教職大学院 教授
谷 和樹 著

トークライン BOOK
教育技術研究所

※本書は『教育トークライン』（教育技術研究所）二〇一五年四月号～二〇一八年三月号に「授業のベーシックスキル」として掲載されたものに加筆・修正し、新原稿を加えて構成したものです。

教師のベーシックスキルとは

教師のベーシックスキルとは、向山洋一氏が提唱し、全国に広まっている「ＴＯＳＳ授業技量検定」の審査項目の中から、ごく基本的だと思えるものをピックアップし、私の独断でまとめたものである。

全部で十項目ある。

授業の腕を上げたい人、教室で子供たちを惹き付け、熱中させるような授業がしたい人、そうした人たちに、まず基本的な前提として身に付けていただきたい項目だ。

元々は、大学生たちに講義するために整理した。本当に基本中の基本と思える項目である。

教員を目指すのであれば、この十項目は、できれば学生の間にクリアしておいてほしいと思っている。

第一巻では前半の五項目を紹介した。

次のものである。

教師のベーシックスキル1「表情（笑顔）」

教師の笑顔は授業の前提条件である。笑顔で授業できない人は教師に向いていない。にこやかな表情で授業することは基本中の基本。笑顔は当然練習すべきである。笑顔の効果は絶大である。楽しいから笑うのではない。笑うから楽しくなる。プロの教師は、いつもすてきな笑顔で子供たちに接している。

教師のベーシックスキル2「声（声量・トーン）」

場に応じた適切な声を意識したい。教師にとって「声」は商売道具である。「声」には当然こだわりを持ち、意図的に練習し、日夜メンテナンスを施すべきだ。魅力的で誰もが惹き付けられてしまう向山洋一氏の声。集団を統率していくリーダーたちの声の魅力のエピソードから学びたい。

教師のベーシックスキル3　「目線」

超一流のプロは、私たちが想像できる次元を超えたレベルの技を持っている。そういった世界を知った上での修業が大切だ。

一流のプロの目線と再現能力を知ること。知っていれば、それに近づく努力をすることができる。知らなければいつまでも低いレベルのままだ。

神業としか言いようのない向山洋一氏の目線。こうしたスキルを目指して努力すること。それだけが一流へのパスポートである。

教師のベーシックスキル4　「立ち位置・動線」

「ハンカチ一枚のスペース」から一歩も出ることができない教師がいる。教師は教室で適当に立っているのではない。立ち位置にはロジックがある。

子供の意識や目線は、教師の立ち位置によってある程度コントロールできる。

当然知っておくべき、初歩の立ち位置がある。

机間巡視にも、基本定石とも言えるロジックがある。勉強していない教師が我流でやるのでは、子供たちに迷惑だ。まずは、基本を身に付けることが大切だ。

教師のベーシックスキル5「リズム・テンポ」

優れた授業には心地良いリズムとテンポがある。上手い授業と下手な授業を分ける最も鮮明な基準は、リズムとテンポだ。

簡単にいえば、上手い授業は速い。下手な授業は遅い。

授業の心地良いスピード感とはどのようなものか。その理想イメージを、向山氏のような達人の授業からトレースしたい。

心地良いリズムとテンポを体得する早道は「シャドーイング」である。そっくりそのままマネしてみることからスタートするとよい。徹底的なコピーによって、常識とは違った「名人のリズムとテンポ」を身に付けよう。

知っていてもなかなか使いこなせないそのプロの奥義を、映像から抽出し、分析し、自分でも挑戦しよう。

本書が、授業の腕を上げたいと願っている先生方にとって、少しでもお役にたてばと願っている。

教師のベーシックスキル７＋３　◎　目次

教師のベーシックスキルとは …… 3
教師のベーシックスキル７＋３〈一覧〉 …… 10

Ⅰ　ベーシックスキルを学ぶ前に …… 11
(1)　授業の上手と下手を分ける明確なポイントとは何か …… 12
(2)　「黒帯六条件」を通過せよ …… 23
(3)　ＴＯＳＳ授業技量検定のＤ表、Ｅ表、Ｆ表を攻略せよ …… 31

Ⅱ　教師のベーシックスキル１「表情（笑顔）」 …… 37
ベーシックスキル１
「表情」のチェックリスト …… 46
ベーシックスキル１「表情」私の体験談 …… 47

Ⅲ　教師のベーシックスキル２「声（声量・トーン）」 …… 51
ベーシックスキル２「声」のチェックリスト …… 60
ベーシックスキル２「声」私の体験談 …… 61

Ⅳ　教師のベーシックスキル3「目線」……65
ベーシックスキル3「目線」のチェックリスト……87
ベーシックスキル3「目線」私の体験談……88

Ⅴ　教師のベーシックスキル4「立ち位置・動線」……91
ベーシックスキル4
「立ち位置・動線」のチェックリスト……130
ベーシックスキル4
「立ち位置・動線」私の体験談……131

Ⅵ　教師のベーシックスキル5「リズム・テンポ」……135
ベーシックスキル5
「リズム・テンポ」のチェックリスト……166
ベーシックスキル5
「リズム・テンポ」私の体験談……167

第一巻　あとがき……171

イラスト：ナカジマ　ヤヨイ

〈一覧〉

教師の
ベーシックスキル
7+3

① 表情（笑顔）
② 声（声量・トーン）
③ 目線
④ 立ち位置・動線
⑤ リズム・テンポ
⑥ 対応・応答
⑦ 作業指示

＋

⑧ 教材の駆使
⑨ 緩急
⑩ 時間感覚

I

ベーシックスキルを学ぶ前に

(1) 授業の上手と下手を分ける明確なポイントとは何か

教師の力量は授業を見ればすぐに分かる。授業の上手と下手を分ける何かがある。授業の上手と下手を分ける要素は何だろうか。それには、経験年数も、センスも、読書の量も、ほとんど関係ない。授業がうまくなりたいなら、①緊張感のある場面で研究授業をすること。②そして自分よりうまい人に厳しく指導されること。それに尽きる。

1 授業には上手と下手がある

授業には、上手か下手かしかない。その真ん中はない。
それは、哀しいほど明確なものである。

教師の腕は、職場で一緒に働いていても分からない。しかし、授業を見ればすぐに分かる。

向山洋一氏にかつて教えられた言葉だ。授業を見れば力量は分かるのだ。

それでは、何時間くらい見せてもらえば分かるだろうか。

①一単元（数時間）程度
②一時間（四十五分）程度
③半時間（二十分）程度
④数分（四～五分）程度

答えは④。授業開始の数分。それでおおよその力量は分かる。

誤解を恐れずにもう少しハッキリ言ってよければ、実は「数分」もいらない。授業を見始めてから数秒で感覚的に分かる。